

身体計測

身長、体重、体格指数 BMI (body mass index) を計測します。

検査でわかること

BMI の値で太っているかやせているかがわかります。

体重÷身長÷身長で、算出します。

	要注意	基準値*	要注意
体格指数 (BMI)	18.4 以下 (低体重)	18.5~24.9	25.0 以上 (肥満)

(単位 kg/m²)

*将来、脳・心血管疾患発症しうる可能性を考慮した基準範囲

検査に関わる疾患

高血圧

高血圧は肥満とも密接な関わりがあります。体脂肪量がふえると、全身に送りだす血液の量がふえ、心臓の負担が大きくなります。

また交感神経機能を高めて体液量が増えて血圧が上昇します。

糖尿病

糖尿病は、ブドウ糖を細胞内に取り込むインスリンの分泌が不十分だったり、その働きが悪いために血液中の糖が増える病気です。

肥満になると糖分を代謝処理するホルモン「インスリン」の働きが悪くなり、糖尿病を併発しやすくなります。

高中性脂肪血症

体内の脂肪の中で最も多く、エネルギー源として糖質が変化したものです。高中性脂肪血症は血液中の中性脂肪が多すぎる状態で、肝臓内脂肪、皮下脂肪として蓄えられます。過剰に肝臓に蓄積した場合、脂肪肝という病気になります。さらに、血管壁に蓄積して動脈硬化を引き起こします。

高尿酸血症

高尿酸血症は血液中の尿酸が増えすぎた状態ですが、肥満の合併症としても起こることが多い病気です。尿酸が関節にたまると痛風の発作が起きるようになります。